



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

# がんになっても いきいきと!

4月になって心機一転という方も多いと思います。私は3月に61歳の誕生日を迎えました。これまで、少しの病気は経験しましたが、大事に至ることなくここまでできました。親に感謝して、長く健康であり続けるために運動を続けたいと思います。ありがとうございます。

昨年末にも行き米国に学会出張してきました。5日に出発し、6日から8日までAACR(米国癌学会)に参加してました。この原稿は、9日、サンディエゴから関空へ帰る

機内で書いています。普段は一人参加ですが、今回は神戸大学乳癌外科の2人と参加しました。一人は外科医、もう一人は研究者。研究者は2019年に、私の知り合いのホフマン教授の下で半年研究をして、神戸に戻り、われわれと一緒に抗がん剤の開発や、がんから血液や涙に出てくる物質の研究をしています。今回はホフマン教授、通称ポプちゃんのことし6月に80歳になるのと学会がサンディエゴで開催されるので、参加を決めました。

125

## サンディエゴの学会に参加

ボブちゃんと知り合ったのは、私が慶応大学に行っていた92年。今もZoomやメールを使って若者の論文を見てもらっています。なんの裏心もなく、いろんなことを話せるのも楽しみの一つです。今は、ちょっと話しにくい話題になりますが、ユ

ダヤの話をしてみました。祖父母がロシアから渡来。彼はユダヤ3世。ユダヤ人は12部族あり、2000年前に中東を追われ、現存の2部族以外は分かっているようです。2

000年間も、バラバラになりながらもユダヤの部族として受け継がれています。ヘブライ語を話し、地域によってはヘブライの学校があります。日本では、朝鮮半島からの移民

をかなり前に受け入れてから、ほとんどそのまま来たことは、世界的には珍しいのかも知れません。サンディエゴでは、ホームレスの人をよく見かけますが、海辺の美し

い町です。空母のミッドウエーが展示されている海軍の町です。日本も、われわれが子どもの頃はいろいろありましたが、現在は町でも田舎でも、夜も安全で過ごせるいい国です。この30年で少し貧しくなったかも知れませんが、

海外の人から見ると驚くような近代的で美しい、安全な国です。私の生まれは、終戦から18年。子どもの頃は、まだ戦争の話もよく聞いたり、影響がまだ残っているような時代でした。それから60年、良い時代を素晴らしい国で過ごさせていただきました

した。世界的には物騒なことが起こっていますが、巻き込まれないように、しっかりと意思を持って日本を運営しなければなりません。

す。興味がある方は二次元コードからどうぞ。

谷野メディアカル  
ソシエイツ 代表  
谷野裕一  
https://www.breastlife.com



今回の渡米のお話では、講演会、ユー・チューブで詳しくお話ししたいと思いま